

佐藤光之助 元所長 勲三等に叙せられる

物理探査部

地質調査所元所長の佐藤光之助氏は 昭和58年秋の叙勲で 勲三等瑞宝章を授与されました。 令夫人ともども11月14日の勲章伝達式に列席され 翌15日には皇居に参入 天皇陛下に拝謁されました。 次いで 11月18日には地質調査所にみえられ 所長はじめ関係者の方々にご挨拶されました。 今回の授与に対し 心からお祝い申し上げます。

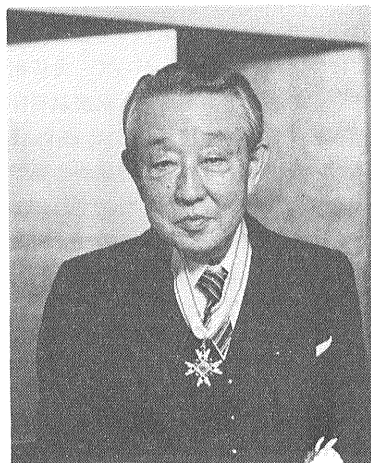
佐藤元所長は 昭和13年3月 東京帝国大学理学部地震学科を卒業後 しばらく同大学理学部で勤務され 翌14年11月に商工省に移られて以降 地質調査所で活躍されることになりました。 終戦前は国内あるいは中国大陸で鉱産資源の物理探査に従事されていましたが 戦後 昭和23年官制改正と共に物理探査部電磁気課長に就任 探査課長を経て 昭和29年1月 物理探査部長になられるまで 戦後復興期における物理探査の指導者として 国内各種地下資源の調査研究 探査技術の導入及び育成に努められました。 占領下の困難な時期に物理探査に関する学会設立に中核的役割りを果たし 昭和23年に物理探査技術協会（現物理探査学会）を発足させました。

物理探査部長昇進後は特に探査技術の近代化 組織化に努められ 新技術の導入のみならず調査システムに新概念を導入されました。 こうして ウラン 地熱 海洋等の大型研究を通じ 空中 海上探査技術等がとり入れられ 広域探査技術や深部探査技術が飛躍的に発展しました。

昭和40年所長昇任と共に 更に各分野で手腕を振るわれました。 豊富な学識経験を生かされて 関連審議会・委員会等で活躍されたのは勿論ですが 特に 国際協力には非常に熱意をもってあたられ 地質調査所の業務の大きな柱に育て上げられました。

昭和34年 名古屋大学より電気探査に関する研究に対し理学博士の学位を授与され 昭和42年には西日本新聞社より九州地熱研究開発に対し西日本文化賞を受賞されました。 また 育成された物理探査技術協会では会長を4回もつとめられました。

昭和45年退官後は 同和鉱業株式会社に移られ 更に金属鉱業事業団（理事） 地熱調査会（常務理事） 東京



佐藤光之助氏

地学協会（理事） 東京大学（工学部講師）等を歴任され 現在 東京地学協会副会長 産業技術審議会地熱エネルギー分科会長等として活躍されており 物理探査学会名誉会員でもあります。 このように 氏は幅広い活動を今日でも進められており 学界・産業界に大きな功績を残しております。

最後に 今回の栄誉に対し 重ねてお祝い申し上げますと共に 御夫妻の御健勝をお祈り申し上げます。



勲記